

# 第5回 事業報告書

(平成28年1月1日から平成28年12月31日まで)

## I 事業活動

今年度も公益目的事業として、つぎの事業に取り組みました。ひとつは、講演会や交流会などを通じて地域活性化と産業振興を目的とする「産業振興事業」であり、もうひとつは、重要文化財旧松本家住宅の見学を通じて建築文化や歴史を学ぶ場、および文化財建物を文化活動の場として活用することによる文化振興を目的とした「文化財活用事業」です。

今年度は特に、G7エネルギー大臣会合のワーキングディナー会場としての役割を果たすことができました。また、近代化産業遺産のひとつとして観光ツアーの積極的な受け入れを行い、歴史や建物の意義を知っていただくことに努めました。

これらの事業を財政面で支えるとともに、あわせて、その収益を、公益目的事業の推進拠点となる重要文化財建物の維持に充てるための「食堂運営事業」も行いました。

### 1 産業振興事業

#### (1) 講演会

経営・経済・政治・文化・社会問題等につき、有識者を招いて講演会を開催し、延べ570名程の参加がありました。

また、行政関係・友好諸団体主催の講演会の共催ならびに後援を行い、参加者の幅広い交流の機会づくりを行いました。

当倶楽部が主催した講演会は、つぎのとおりです。

第1回 平成28年 1月27日(水)

「大統領選挙にむけた日米関係」

同志社大学 学長 村田 晃嗣氏

第2回 平成28年 2月15日(月)

「最近の経済情勢と平成28年度予算について」

福岡財務支局 支局長 森山 茂樹氏

第3回 平成28年 3月 3日(木)

「北九州の文芸のあゆみ～シビックプライドの醸成にむけて」

北九州市立文学館 館長 今川 英子氏

第4回 平成28年 4月18日(月)

「未来を拓く 北九州市から地方創生の成功モデルを」

北九州市 市長 北橋 健治氏

- 第5回 平成28年 5月20日(金)  
「リノベーションによるまちづくりの時代へ」  
九州工業大学大学院工学研究院 准教授 徳田 光弘氏
- 第6回 平成28年 6月29日(水)  
「内外経済と株式市場の見通し」  
大和証券株式会社投資戦略部 株式ストラテジスト 野間口 毅氏
- 第7回 平成28年 7月 7日(木)  
「明治の建築家 伊東忠太 オスマン帝国をゆく」  
美術史家 ジラルデッリ青木 美由紀氏
- 第8回 平成28年 8月 4日(木)  
「大学の学びが変わる—新たな学びの機会と環境—」  
九州工業大学 学長 尾家 祐二氏
- 第9回 平成28年 9月15日(木)  
「板東英二のがむしゃら人生」  
タレント 板東 英二氏
- 第10回 平成28年10月31日(月)  
「北九州地域の発展について」  
福岡県 知事 小川 洋氏
- 第11回 平成28年11月 4日(金)  
「九州のさらなる発展にむけて～未来への投資と成長戦略～」  
九州経済産業局 局長 高橋 直人氏
- 第12回 平成28年12月 7日(水)  
「①北九州・京築経済の展望と課題、②その後どうなった？中国経済の今」  
日本銀行 北九州支店長 福本 智之氏

その他共催・後援事業はつぎのとおりです。

- 平成28年1月26日(火)  
「G7サミットとエネルギー安全保障」  
ジョージタウン大学外交研究所教授・シニアフェロー カシミール・ヨースト氏
- 平成28年3月14日(月)  
「中核企業と地域産業の新陳代謝～新事業の創造と新しい事業生態系づくり～」  
(公財)九州経済調査協会 調査研究部次長 岡野 秀之氏
- 平成28年4月12日(火)  
「電力自由化：選択肢の拡大と安全の向上」  
(公財)アジア成長研究所所長 八田 達夫氏
- 平成28年5月17日(火)  
「転換期の中国経済～北九州の経済動向も含め～」  
日本銀行 北九州支店長 福本 智之氏

平成28年7月25日(月)

「訪日中国人観光客の旅行先選択行動と九州の観光推進策への提言」

(公財)アジア成長研究所研究部長 戴 二彪氏

平成28年10月4日(火)

「スポーツレジャー産業を健康産業に発展させる」

(株)ルネサンス代表取締役会長 斎藤 敏一氏

## (2) 交流会

### ① シンポジウムの会

参加者相互の交流をより深めることを目的とする、美食会を兼ねた“シンポジウム”の会を5月、12月に計2回開催しました。それぞれのテーマに沿った食材を使った料理を楽しむとともに、倶楽部の近況報告を行いました。

### ② 特別講演会ならびに交流会

毎年の恒例行事としてつぎのとおり開催し、福岡県知事・北九州市長ほか多数の参加があり、情報交換・懇親の場として活用いただきました。

1月5日 新年賀詞交歓会

4月18日 北九州市長特別講演会ならびに春季懇親会

10月31日 福岡県知事特別講演会ならびに秋季懇親会

### ③ 行政・経済団体等との交流

行政(九州経済産業局・福岡財務支局・北九州市各部局・教育委員会など)、友好諸団体(北九州商工会議所・(公財)北九州国際技術協力協会・(公財)北九州活性化協議会・(公社)北九州貿易協会・(公財)アジア成長研究所・(公財)北九州国際交流協会、福岡経済同友会など)と協力して、各種のシンポジウム・講演会・懇談会・文化活動など、地域の発展と国際友好親善に努めました。

## 2 文化財活用事業

明治45年(1912)年に洋館が竣工し、昭和47年(1972)年に重要文化財に指定された「旧松本家住宅」は、その建物の維持管理の観点から、公開は特別公開日のみとしています。今年度の特別公開日は、4月16日および11月6日の2日間開催し、合わせて1,500名近くの入場者がありました。

なお、建築専門家および建築に関心のある団体や学校からの社会見学は、事前の予約を受けて対応しています。

また、婚礼や食事等での会館利用者に対しては、積極的に館内案内を行っており、重要文化財に直接触れることで文化財の意義・価値を認識するとともに、文化財保護意識を高めていただく機会となっています。

このほか行政や友好諸団体との文化交流では、音楽・茶道・華道・書画等や音楽会・作品発表会などに会場を提供し、文化向上に努めました。特別公開日には、ミニコンサートや茶道体験・華道団体の作品発表会の場として、出展者ならびに多くの来館者に好評を博しています。

### 3 食堂運営事業

会食、婚礼ともに利用回数が増加し、前年実績ならびに目標を大きく上回る成果を残せました。その結果、当事業の収入は 367,685 千円（前年比 51,855 千円増）、支出は 340,458 千円（前年比 49,871 千円増）となり、経常利益で 27,227 千円（昨年比 1,983 千円増）の黒字を計上することができました。

なお、これらに、産業振興事業・文化財活用事業および法人会計の収支を加えた全体の収支は、収入 406,163 千円（前年比 52,900 千円増）、支出 391,513 千円（前年比 53,457 千円増）となり、差引 14,649 千円（前年比 556 千円減）の経常利益となりました。

## II 会務の概況

### 1 定時社員総会

平成 28 年 2 月 26 日 12 時 00 分から当倶楽部で第 4 回定時社員総会を開催しました。

報告事項 第 4 期(平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで)事業報告の件

決議事項

第 1 号議案 第 4 期(平成 27 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで)貸借対照表および正味財産増減計算書ならびに財産目録承認の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第 2 号議案 理事 20 名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

第 3 号議案 監事 2 名選任の件

本件は原案どおり承認可決されました。

### 2 理事会・委員会

平成 28 年度中に開催された理事会・委員会はつぎのとおりです。

理 事 会 3 回 監 事 会 1 回 役員懇談会 4 回

経済調査委員会 2 回 財務委員会 1 回 総務委員会 2 回 交流委員会 1 回

### 3 会員の異動状況

会員種別	前年度末 現在会員数	本年度 入会者数	本年度 退会者数	本年度末 現在会員数	増減数
法人会員 (指名会員)	188社 (247人)	5社 (7人)	2社 (3人)	191社 (251人)	+3社 (+4人)
個人会員	6人	1人	0人	7人	+1人
客員	7人	0人	0人	7人	0人

\*指名会員の異動には、増員ならびに個人会員への異動を含みます。

### 4 役員状況(平成29年2月24日現在)

理事長(代表理事)	利島康司
副理事長	佐藤直樹
	同 伊倉信彦
	同 張本邦雄
常任理事	久富雅史
理事	高橋正幸
	同 影山英雄
	同 岡野正敏
	同 古野英樹
	同 廣渡健
	同 川邊貴俊
	同 早川陽一
	同 自見榮祐
	同 二橋岩雄
	同 前川義広
	同 荒井孝文
	同 芳賀晟壽
	同 渡部晴夫
	同 北村徹
	同 山本雄造
監事	山崎博司
	同 吉戒孝
	同 三島正一
	同 柏木修